

## 第2 経済交流と物流対策

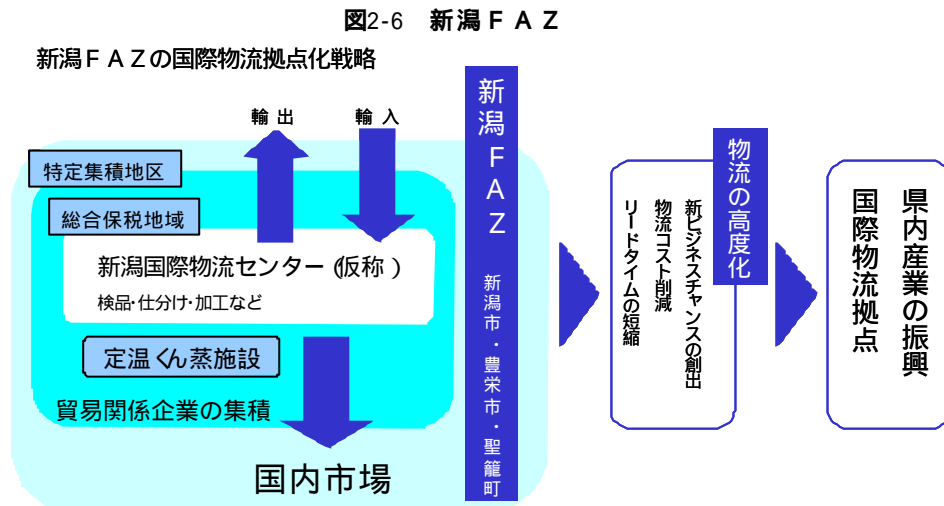
### 1 概況

近年、アジア諸国などの著しい経済発展により、経済面での相互交流が世界的に幅広く進展している中で、国際経済をめぐる情勢は大きく変化している。

県内の金属洋食器・ハウスウェア、作業工具、繊維などの代表的な地場産業を中心に、県内企業は、国際経済環境の変化に対応して新製品・新技術の開発、事業転換、海外展開等に積極的に取り組んでいる。県では、こうした企業活動を支援するため、活発な経済交流や物流対策事業を推進している。

### 2 新潟FAZ（輸入促進地域）計画〔国の承認 平成8年3月27日〕

「日本海大交流時代」の国際物流拠点化に向けて、新潟港及び新潟空港の国際インフラや高速交通網の結節点等の高いポテンシャルを活かしながら、国際物流拠点の整備と貿易関係企業の集積を促進し、貿易の拡大により県内産業等の振興を図る。



#### (1) 新潟FAZ計画

【定温くん蒸施設】(平成10年4月開業)

##### ア くん蒸庫（県整備）

- ・規模 210 m<sup>2</sup> (105 m<sup>2</sup> × 2庫)
- ・機能 青酸・臭化メチルくん蒸  
定温機能 - 3 ~ 20  
40ft コンテナ オンシャーシくん蒸可能

##### イ 定温庫（第三セクター整備）

- ・規模 1,500 m<sup>2</sup> (300 m<sup>2</sup> × 5庫)
- ・機能 臭化メチルくん蒸3庫（5庫のうち）  
定温機能 - 3 ~ 20

#### (2) 今後の整備方針

##### ア 「新潟国際物流センター（仮称）」

- ・総合保税地域制度の適用により、輸入貨物の検品・仕分け・加工・保管・展示などができる高度物流施設の整備を図る。

##### イ 特定集積地区の設定

- ・貿易関係企業を支援し集積を促進する地区であり、地区内へ立地する企業は、税制面での優遇措置、政府系金融機関からの低利融資などのメリットを受けることが可能となる。

### 3 対岸諸国等との経済交流

当県は、韓国、中国、ロシア極東地方などの歴史的、地理的に関係の深い対岸諸国との経済交流の拡大に努めているとともに、東南アジア諸国や他の国々との経済交流も活発に展開している。

環日本海地域から当県に寄せられている期待はますます高まっており、平成2年に開設した新潟県ソウル事務所に次ぎ、平成9年3月、中国との経済交流の拠点となる新潟県大連経済事務所を開設した。

#### (1) 中国との経済交流

黒龍江省との経済交流は、昭和58年8月の友好県省議定書の調印を契機として始まり、毎年交互に「新潟県黒龍江省経済交流促進会議」を開催している。

平成14年度は、昨年に続いて黒龍江省で開催された「第13回中国ハルビン経済貿易商談会」に出展参加、経済ミッションを派遣したほか、新潟県のPRを行うため、中国経済の中心地である上海市において3月に中国・新潟フェアを開催した。

表2-2-1 中国との最近の経済交流事業

年 月	事 業
平成 8年 6月	第7回中国ハルビン経済貿易商談会に出展
8月	吉林省長春にて秋田県、島根県、鳥取県と合同で「中国吉林省・日本国日本海沿岸4県製品技術展覧会」を開催
9月	新潟県・中国東北地域経済ミッションを派遣
平成 9年 1月	中国南部・東南アジア経済ミッションを派遣
3月	新潟県大連経済事務所開設
5月	新潟県大連経済事務所開設記念式典
6月	第8回中国ハルビン経済貿易商談会に出展
8月	吉林省長春にて秋田県、島根県、鳥取県と合同で「中国吉林省・日本国日本海沿岸4県製品技術展覧会」を開催
9月	新潟市にて新潟県・黒龍江省経済交流促進会議を開催
10月	大連・新潟フェア開催、第4回大連国際部品・材料展に出展
平成10年 6月	第9回中国ハルビン経済貿易商談会に出展、併せて、経済代表団を派遣
8月	吉林省長春で開催された長春経済貿易科技交易会にて「中国吉林省・日本国日本海沿岸4県製品技術展覧会」を開催
10月	上海国際部品材料展、大連国際部品材料展に出展 大連・新潟フェア開催
平成11年 6月	ハルビン市にて、新潟県・黒龍江省経済交流促進会議を開催 第10回中国ハルビン経済貿易商談会に出展 併せて、経済交流ミッションを派遣
9月	吉林省長春にて秋田県、島根県、鳥取県と合同で「企業情報交換会」を開催
10月	大連国際部品材料展に出展
12月	新潟市にて新潟県・黒龍江省経済交流促進会議を開催
平成12年 3月	上海で中国・新潟フェアを開催
6月	第11回中国ハルビン経済貿易商談会に出展
10月	ハルビン市にて、新潟県・黒龍江省経済交流促進会議を開催、併せて経済交流ミッションを派遣
平成13年 3月	上海で中国・新潟フェアを開催
6月	第12回中国ハルビン経済貿易商談会に出展、併せて経済交流ミッションを派遣
11月	新潟にて新潟県・黒龍江省経済交流促進会議を開催
平成14年 3月	上海市で中国・新潟フェアを開催
6月	第13回中国ハルビン経済貿易商談会に出展
9月	大連経済事務所開設5周年記念経済訪問団を派遣
11月	ハルビン市にて、新潟県・黒龍江省経済交流促進会議を開催、併せて経済交流ミッションを派遣
平成15年 3月	上海市で中国・新潟フェアを開催
秋	新潟にて、新潟県黒龍江省経済交流促進会議開催予定
秋	黒龍江省へ経済ミッションを派遣予定 黒龍江省経済代表団受入予定（新潟県・黒龍江省友好提携20周年記念事業）
平成16年 3月	第14回中国ハルビン経済貿易商談会に出展予定 上海市で開催される上海華東交易会に出展予定

新潟県大連経済事務所

所在地：中華人民共和国遼寧省大連市西岗区中山路147号 森茂大厦13階 郵便番号：116011  
 電話：86 - 411 - 3695458 FAX：86 - 411 - 3695470  
 メールアドレス：niigatao@mail.dlptt.ln.cn.  
 ホームページ：http://www.niigata-bnp.com/dalian/index.htm

(2) 韓国との経済交流支援事業

平成2年開設の新潟県ソウル事務所を拠点として、「企業間交流の支援」、「港湾・空港の利用促進」、「文化、教育等の人的交流支援」、「当県の観光資源の紹介」、「日韓共催2002年ワールドカップ関連の交流」などの業務を行い、韓国との交流の促進を図っている。

表2-2-2 韓国との最近の経済交流事業

年 月	事 業
平成5年7月	新潟県ソウル事務所開設3周年記念訪韓団を派遣
10月	観光物産展をソウルで開催
平成6年9月	観光物産展をソウルで開催
平成7年10月	新潟県ソウル事務所開設5周年記念訪韓団を派遣
平成8年4月	日韓・韓日民間合同経済委員会会議
平成10年11月	日韓金属洋食器団体交流会議をソウルで開催
平成12年6月	ソウル事務所開設10周年記念事業をソウルで開催
7月	第1回北陸・韓国経済交流会議を富山市で開催
平成13年2月	第2回北陸・韓国経済交流会議をソウルで開催
10月	日韓交流祭をソウルで開催
11月	ソウル・新潟フェアを開催
平成14年4月	日韓交流祭を釜山で開催
11月	第3回北陸・韓国経済交流会議を金沢市で開催
平成15年5月	ソウル・新潟フェアを開催予定
	第4回北陸・韓国経済交流会議を大邱市で開催
	国際見本市出展予定

新潟県ソウル事務所

所在地：SEOUL特別市中区南大門路2街118 海運CENTER B/D本館1609号 郵便番号：100-770  
 電話：82 - 2 - 773 - 3161 FAX：82 - 2 - 773 - 7464  
 メールアドレス：kobayashi@niigata.or.kr  
 ホームページ：http://www.niigata.or.kr

(3) ロシア極東シベリア地方との経済交流

平成7年8月に本県知事を団長とした全国レベルの官民合同ミッションを派遣したことにより、北東アジアの物流拠点となるザルビノ港の開発プロジェクトの研究などに取り組んだ。

また、ウラジオストクで開催される見本市に参加するなど、県内企業の対ロシアビジネスを支援した。

表2-2-3 ロシアとの最近の経済交流事業

年 月	事 業
平成6年7月	新潟市において「ロシア極東シベリア物産展 NIIGATA'94」を開催
10月	ハバロフスク、ウラジオストクで市場経済化協力事業を実施
	ウラジオストクの「極東環太平洋消費物資展'94」に出展
平成7年8月	ロシア極東官民合同ミッションを沿海地方、サハリン州、ハバロフスク地方に派遣
10月	ハバロフスク、ウラジオストクで市場経済化協力事業を実施
	ウラジオストクの「極東環太平洋消費物資展'95」に出展
平成8年10月	ウラジオストクの「極東環太平洋消費物資展'96」に出展

(4) オランダとの経済交流

平成13年5月に、知事を団長とするオランダ北ホラント州等欧州訪問団を派遣し、経済セミナーや個別商談会を実施した。

オランダ北ホラント州とは、平成9年以来、チューリップ等の農業分野を初めとして経済交流が進んでいるが、更なる交流の拡大を目指し、経済訪問団を相互に派遣し、商談会等を実施している。

#### 4 本県の輸出入状況

「新潟県の輸出入動向 - 平成13年新潟県輸出入状況統計調査から - 」( )によると、平成13年の本県事業所の輸出入状況は次のとおりである。

調査対象：県内で輸出入業務を行っていると思われる事業所663社を対象に実施。回答事業所336社（回答率50.7%）  
内訳としては、輸出入実績がある事業所311社のうち、輸出のみ - 97社、輸出入とも - 113社、輸入のみ - 101社である。

##### (1) 輸出状況

平成13年における本県の輸出額は、前年に比べ+0.2%の2,469億円であった。

地域別にみると、当県輸出シェアの半分強を占めるアジア向けの輸出が、対前年比 1.2%となった。しかし、次いでシェアの23.6%を占める北米向けが同+14.4%となった。シェア3番目の西ヨーロッパ向けは同 2.1%と前年より減少した。これ以外の地域は少額であるが、中南米、大洋州向けは、それぞれ+27.4%、+47.0%と増加した一方、中東、アフリカ、CIS・中欧・東欧向けはそれぞれ 11.4%、 43.9%、 52.5%と減少した。（表2-2-4参照）

対岸4カ国（韓国、北朝鮮、中国、ロシア）向けは中国向けが対前年比+ 2.6%と若干伸びたが、韓国向けは同 9.1%と減少した。小額であったロシア、北朝鮮向けは、ロシアが同 62.0%、北朝鮮が+4.8%となった。4カ国全体では同 1.2%の微減であった。（表2-2-5参照）

商品別にみると、構成比43.9%とシェア1位の「機械機器」は対前年比 5.6%、シェア2位の「化学品」も同 12.8%と減少したが、シェア3位の「金属品」は同+37.6%と大幅に伸びた。（表2-2-6参照）

表2-2-4 地域別輸出動向

（単位：百万円、%）

地域	年	平成13年			
		平成12年 輸出額	輸出額	対前年比 構成比	
総額		226,509	226,902	100.2	100.0
アジア		127,807	126,237	98.8	55.6
韓国		20,871	18,974	90.9	8.4
台湾		18,289	13,136	71.8	5.8
香港		10,773	8,152	75.7	3.6
シンガポール		6,028	11,288	187.3	5.0
北朝鮮		21	22	104.8	0.0
中国		48,115	49,380	102.6	21.8
中東		3,459	3,066	88.6	1.4
西ヨーロッパ		36,215	35,446	97.9	15.6
オランダ		4,647	2,734	58.8	1.2
北アメリカ		46,848	53,597	114.4	23.6
アメリカ		45,649	52,518	115.0	23.1
中南米		1,880	2,396	127.4	1.1
アフリカ		2,050	1,150	56.1	0.5
大洋州		2,038	2,995	147.0	1.3
CIS・中欧・東欧		406	193	47.5	0.1
ロシア		337	128	38.0	0.1
不明		5,806	1,822	31.4	0.8

表2-2-5 対岸4カ国向け輸出動向

（単位：百万円、%）

国名	年	平成13年			
		平成12年 輸出額	輸出額	対前年比 構成比	
韓国		20,871	18,974	90.9	27.7
北朝鮮		21	22	104.8	0.0
中国		48,115	49,380	102.6	72.1
ロシア		337	128	38.0	0.2
計		69,344	68,504	98.8	100.0

表2-2-6 商品別輸出動向

(単位：百万円、%)

品名	年	平成13年		
	平成12年	輸出額	対前年比	構成比
総計	226,509	226,902	100.2	100.0
食料品	930	1,012	108.8	0.4
原燃料	10,133	12,344	121.8	5.4
繊維品	3,282	3,177	96.8	1.4
非金属鉱物製品	759	1,045	137.7	0.5
その他の製品	7,182	6,509	90.6	2.9
化学品	64,685	56,399	87.2	24.9
金属品	34,020	46,811	137.6	20.6
機械機器	105,518	99,608	94.4	43.9

## (2) 輸入状況

平成13年における本県の輸入額は、前年に比べ+7.9%の2,571億円であった。

地域別にみると、全体の62.1%を占めるアジアからが対前年比 8.2%と減少した。北米は構成比15.1%とシェアの2位を占め、対前年比+1.0%とほぼ前年並みであった。中東の構成比は11.5%に止まったが、「鉱物性燃料」の新規輸入により、対前年比+1,522.1%と急増した。

(表2-2-7参照)

対岸4カ国(韓国、北朝鮮、中国、ロシア)では、全体で対前年比 5.7%と減少した。中でも韓国からは「鉱物性燃料」や「食料品」を中心として同 47.5%と大幅に落ちた。一方、中国、ロシア、北朝鮮からは全て増加であった。(表2-2-8参照)

商品別にみると、「鉱物性燃料」は構成比48.6%と前年に引き続きシェア1位を占め、対前年比は+14.5%となった。続いて「その他の製品」は構成比12.6%であり、対前年比+25.3%と増加した。一方、構成比10.0%の「機械機器」は 13.3%と減少に転じた。(表2-2-9参照)

表2-2-7 地域別輸入動向

(単位：百万円、%)

地域	年	平成13年		
	平成12年	輸入額	対前年比	構成比
総額	238,220	257,121	107.09	100.0
アジア	173,847	159,569	91.8	62.1
韓国	10,714	5,621	52.5	2.2
台湾	6,254	5,510	88.1	2.1
香港	12,604	7,278	57.7	2.8
インドネシア	83,251	67,056	80.5	26.1
北朝鮮	21	47	223.8	0.0
中国	27,153	28,508	105.0	11.1
中東	1,824	29,588	1,622.1	11.5
西ヨーロッパ	6,670	6,906	103.5	2.7
オランダ	3,553	3,707	104.9	1.4
北アメリカ	38,345	38,728	101.0	15.1
アメリカ	35,339	36,323	102.8	14.1
中南米	6,378	7,566	118.6	2.9
アフリカ	2,140	2,119	99.0	0.8
大洋州	4,503	6,924	153.8	2.7
C I S・中欧・東欧	4,263	5,571	130.7	2.2
ロシア	4,219	5,532	131.1	2.2
不明	250	150	60.0	0.1

表2-2-8 対岸4カ国からの輸入動向

(単位：百万円、%)

年 国名	平成12年	平成13年		
	輸入額	輸入額	対前年比	構成比
韓国	10,714	5,612	52.5	14.2
北朝鮮	21	47	223.8	0.1
中国	27,153	28,508	105.0	71.8
ロシア	4,219	5,532	131.1	13.9
計	42,107	39,708	94.3	100.0

表2-2-9 商品別輸入動向

(単位：百万円、%)

年 品名	平成12年	平成13年		
	輸入額	輸入額	対前年比	構成比
総計	238,220	257,121	107.9	100.0
食料品	26,609	24,864	93.4	9.7
繊維原料	755	626	82.9	0.2
金属原料	208	750	360.6	0.3
その他の原料品	21,760	19,413	89.2	7.6
鉱物性燃料	109,202	125,021	114.5	48.6
化学品	6,287	9,866	156.9	3.8
機械機器	29,593	25,649	86.7	10.0
繊維製品	2,883	3,027	105.0	1.2
金属品	15,173	15,629	103.0	6.1
その他の製品	25,750	32,276	125.3	12.6

## (3) 東京税関新潟支署管内輸出入状況

新潟税関支署管内(新潟港、直江津港、柏崎港及び新潟空港)を利用した平成14年の貿易額は、輸出が966億9百万円(対前年比+9.5%増加)、輸入が3,314億37百万円(同3.8%減少)となっている。

港別で見ると、輸出で新潟港が650億69百万円と全体の67.4%、輸入でも同港が2,905億93百万円と全体の87.7%を占め、輸出入とも直江津港が続いている。(表2-2-10参照)

品目別で見ると、輸出では機械機器と化学製品の占める割合が高く、両方で全体の約78.0%を占めている。また、輸入では、石油ガス類を中心とした鉱物性燃料が全体の約39.8%を占めており、原料別製品がこれに続いている。(表2-2-11参照)

港別の輸出入の相手国を見ると、輸出では韓国、アメリカ、中国、香港が各港とも上位を占めており、輸入では、中国、アメリカが各港で上位を占めている他、新潟港ではインドネシアが目立っている。(表2-2-12参照)

表2-2-10 県内港別輸出入状況

- 新潟税関支署管内・平成14年 -

	輸 出			輸 入		
	金額(千円)	構成比(%)	前年比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年比(%)
計	96,608,895	100.0	109.5	331,437,468	100.0	96.2
新潟港	65,069,185	67.4	114.0	290,592,595	87.7	98.2
直江津港	28,110,374	29.1	99.9	38,563,840	11.6	99.5
柏崎港	-	-	0.0	208,627	0.1	3.4
新潟空港	3,429,336	3.5	113.2	2,072,406	0.6	56.9

表2-2-11 品目別輸出入状況  
- 新潟税関支署管内・平成14年 -

輸出	金額(百万円)	構成比(%)	前年比(%)
計	96,609	100.0	109.5
機械機器	39,571	41.0	106.9
化学製品	35,767	37.0	116.8
原料別製品	11,387	11.8	102.9
原材料	3,165	3.3	110.5
食料品	360	0.4	162.1
その他	6,359	6.6	98.1

輸入	金額(百万円)	構成比(%)	前年比(%)
総計	331,437	100.0	96.2
鉱物性燃料 (石油ガス類)	131,883	39.8	93.0
原料別製品	120,178	36.3	92.9
機械機器	64,212	19.4	106.2
原材料	36,497	11.0	89.3
原材料	26,061	7.9	98.9
化学製品	23,372	7.1	91.1
食料品	17,248	5.2	97.3
その他	32,164	9.7	102.0

表2-2-12 港別・国別輸出入状況  
- 新潟税関支署管内・平成14年 -

(単位：百万円)

	順位	新潟港		直江津港		柏崎港		新潟空港	
		国名	金額	国名	金額	国名	金額	国名	金額
輸 出		韓国	19,709	韓国	8,764	-	-	韓国	940
		アメリカ	10,481	中国	8,433	-	-	中国	719
		中国	7,632	アメリカ	2,132	-	-	香港	437
		香港	6,933	香港	1,206	-	-	台湾	380
		台湾	5,250	ベルギー	1,170	-	-	アメリカ	245
輸 入		インドネシア	85,423	中国	16,795	中国	209	韓国	819
		中国	71,698	アメリカ	5,807	-	-	中国	751
		韓国	20,393	ロシア	4,314	-	-	オランダ	164
		アメリカ	17,926	インドネシア	3,358	-	-	アメリカ	44
		ロシア	17,692	ニュージーランド	1,988	-	-	香港	6

## 5 企業進出の状況

「平成 14 年度新潟県内企業海外進出状況調査報告書」( )によると、県内企業の海外進出(平成 14 年 7 月 31 日現在)は、152 社 365 件にのぼった。

内訳は、地域別ではアジアへ 258 件、北アメリカへ 60 件、西ヨーロッパへ 32 件となっており、アフリカ以外の全ての地域へ進出している。(表 2-2-14 参照)

国別では中国(香港含む)が 121 件と最も多く、次いでアメリカ 60 件、タイ 34 件の順となっている。(表 2-2-13 参照)

調査対象：前回調査で海外進出実績があると回答した企業、「新潟県貿易関係者名簿」掲載企業等 1000 社を対象に実施し、157 社から回答があった。

表2-2-13 国別進出状況

進出先	件数	進出先	件数
中国(香港含む)	121	オーストラリア	3
アメリカ	60	ニュージーランド	3
タイ	34	ブラジル	2
シンガポール	21	インド	2
マレーシア	20	ロシア	2
台湾	17	サウジアラビア	2
韓国	16	イスラエル	2
インドネシア	12	スイス	1
フィリピン	11	ポルトガル	1
ドイツ	11	スペイン	1
イギリス	9	ベルギー	1
オランダ	5	ベネズエラ	1
ベトナム	4		
フランス	3	合計	365

表2-2-14 地域別進出状況

地域	件数
アジア	258
北アメリカ	60
西ヨーロッパ	32
大洋州	6
中東	4
中南米	3
C I S・中欧・東欧	2
合計	365

表2-2-15 形態別進出状況

進出形態	件数
100%日本側出資	171
合弁	126
連絡事務所	22
支店	10
営業所	7
業務提携	6
技術輸出	3
その他	20
不明	0
合計	365